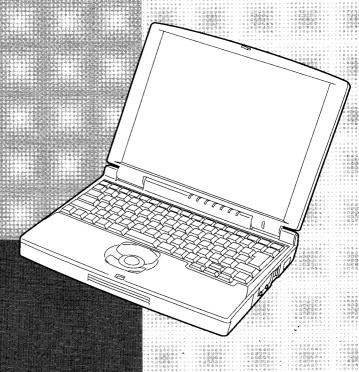
Panasonic

パーソナルコンピューター

取扱説明書

品番 **AL-N2**シリーズ

Let'snote

保証書別添付

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニックコンピューター AL-N2 シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書は、本機の基本的な取り扱いについて説明しています。
お読みになったあとは、保証書とともに保存し、必要なときお読みください。

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっております。

この装置は、第二種情報装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。なお、充電されたバッテリーパックを装着して使用される場合、瞬時電圧低下に対して支障なくお使いいただけます。（詳しくは、本文をご覧ください。）
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のフロッピーディスク、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　**第三者の使用**

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　**コピーの制限**

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　**使用コンピューター**

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　**解析、変更および改造**

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　**アフターサービス**

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　**免責**

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また、この製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第８条　**その他**

上記第６条のアフターサービスには、付属の「ソフトウェアサポートカード」が必要です。本ソフトウェアのバックアップと併せて大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■安全上のご注意は、下記の２ヵ所に分けて説明しています。

コンピューター本体についての説明は、6～9ページにて説明しています。
バッテリーパックについては、26、27ページにて説明しています。

⚠ 警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ●長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

禁止

感電の原因になります。

本機を分解したり、改造したりしない

分解禁止

高電圧に注意
サービスマンの方以外は分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、感電のおそれがあります。

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、分解・改造は火災の原因にもなります。

上に水の入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

●内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って AC アダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

AC アダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

異常が起きたらすぐにACアダプターとバッテリーパックをはずす

電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・発熱している

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切ってACアダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩を取る

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

AC アダプターはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

AC アダプターを接続したまま移動しない

禁止

AC アダプターが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

●電源コードが傷ついた場合は、すぐに AC アダプターをはずして販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響力を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高音により、キャビネット等が過熱・変形・溶解する原因になることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

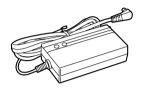
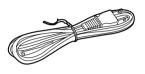
梱包物の確認

下記のものがすべてそろっているか確かめてください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

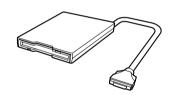
本体

AC アダプター

品番： CF-AA1526 M3

AC コード

バッテリーパック（2 本）

品番： AL-NFBL020J

外付けフロッピーディスクドライブ

品番： AL-NFFE020J

その他の印刷物

●保証書
●ご相談窓口のご案内
●ご愛用者登録カード／ソフトウェアサポートカード
● Windows95 セットアップディスクラベル
●マイクロソフト社のユーザー登録カード

取扱説明書

（本書）

Microsoft Windows95 ファーストステップガイド

各部の名称と働き

前面／側面

LEDインジケーター

NumLK ・ CapsLK ・ ScrLK インジケーター
機能時：緑色

HDDインジケーター
HDD動作中：緑色

BATT（Battery）インジケーターA/B A−−B
バッテリーパックの充電状態を表示します。（P.38）

POWERインジケーター
電源ON時：緑色

空気吹き出し口

使用中温風が出てくることがあります。ふさがないでください。

PCカードスロット

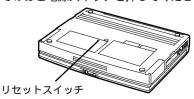
JEIDA規格に準拠したカード（PCMCIA）をセットします。

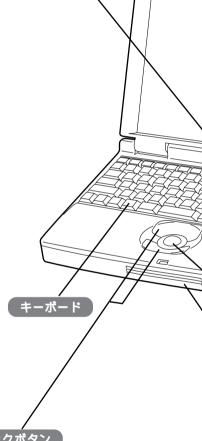
バッテリーパックA挿入口

ここから、バッテリーパックを装着します。バッテリーパックは、ACアダプターを接続しない場合に本体の電源となります。

キーボード

リセットスイッチ

コンピューターが動かなくなって操作できなくなったときに、先の細いもので押すと電源OFFします。そのあと電源スイッチを押してください。

クリックボタン

トラックボールを使って操作するとき、ここを押すとメニューの選択などができます。

オープンラッチ

ここをスライドさせてディスプレイを開けます。

ディスプレイ

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じると、このボタンが押されて、
自動的に画面が消えます。(又はサスペンドします)
ディスプレイを開けると、再び画面が表示されます。
(又はリジュームします)

赤外線通信ポート

赤外線通信を行うときに使用します。

電源スイッチ POWER ▶

本体の電源のON/OFFを切り替えます。

ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、スピーカーなどを
接続します。

マイクロホン端子

市販のオーディオ用マイクロ
ホンを接続します。

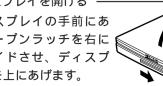
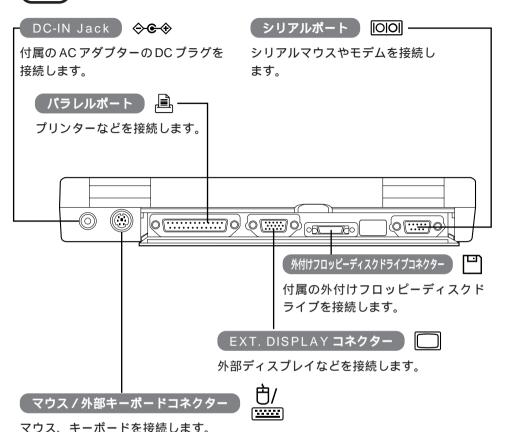
バッテリーパック B 挿入口

トラックボール

ボールを前後左右に回転させると、
カーソルがその方向に動きます。

内蔵スピーカー

◆ディスプレイを開ける

ディスプレイの手前にあるオープンラッチを右にスライドさせ、ディスプレイを上にあげます。

背面

◆お手入れのしかた

- **ディスプレイ部分**
  ガーゼなどの柔らかい布にイソプロピルアルコールやエチルアルコールを十分に浸み込ませて、軽くふきとります。アセトンなどのケトン類やキシレン、トルエンなどの芳香族類の溶剤は使用しないでください。
- **ディスプレイ以外の部分**
  柔らかい布に水または薄めた台所用洗剤（中性）を含ませて固くしぼってから、やさしくふきとります。
  ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用するのは避けてください。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ほこりは、掃除機で吸い取るなどして取り除いてください。

キーボード

本機のキーボード配列は、JIS に準拠しています。文字入力キー以外にいろいろな機能をもつキーがあります。

テンキー

外部キーボードやテンキーパッドが接続されていないときに、[Shift] キーを押しながら [NumLK] キーを押してテンキーを有効にすると、数字が入力できるようになります。

ファンクションキー

使用するソフトウェアによっていろいろな役割を持たせています。

Backspace キー

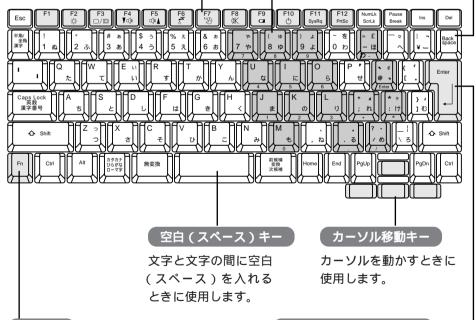
文字入力のときに使用します。カーソルの左側の文字を消します。

空白（スペース）キー

文字と文字の間に空白（スペース）を入れるときに使用します。

カーソル移動キー

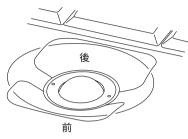
カーソルを動かすときに使用します。

Fn キー

他のキーと組み合わせて押すことによって、特殊な機能を有効にします。（P.39）

Enter（リターン）キー

命令やデータの区切りに押し、入力した情報をコンピューターに伝えます。

トラックボールとクリックボタン

画面の位置を指定して、コンピューターに命令を与える装置のひとつです。トラックボールとクリックボタンを組み合わせて使うと、別売りのマウスと同じ働きをさせることができます。Windowsやマウス対応のアプリケーションソフト上で、画面上のメニューを選んだり、図形を描いたりすることができます。

トラックボール

前後左右にトラックボールを回転させると、カーソルが任意の方向に動きます。

クリックボタン

ここを押すと、メニューの選択などが行えます。

◆基本的な操作

クリック　：後または前ボタンを押して離す。
ダブルクリック　：後または前ボタンを続けて2回すばやく押して離す。
ドラッグ　：後または前ボタンを押したまま、トラックボールを回転する。

参考

- ●2つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は後ボタンで動作します。
- ●前ボタンはマウスの右ボタンと同じ働きをします。後ボタンはマウスの左ボタンと同じ働きをします。
- ●操作方法の詳細は、『Windows Quickユーザーズガイド』を参照してください。
- ●トラックボールの動作を詳細に設定することができます。詳しくは、本書、解説編・環境の設定・各種設定を行う中の「トラックボールの設定をする」をご覧ください。

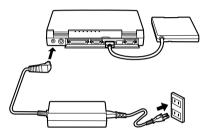
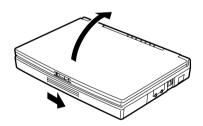
このトラックボールは、光学式トラックボールです。
光学式トラックボールは、通常の使いかたをしているかぎりはゴミやほこりなどによって動きは悪くなりません。

はじめかた・終わりかた

本機には、Microsoft® Windows® 95（以降 Windows）があらかじめインストールされています。ここでは、初めて電源を入れて Windows の操作に入るまでの手順を説明します。

はじめかた

1. AC アダプターを接続する。

付属の専用 AC アダプター（品番：CF-AA1526 M3）を使用してください。それ以外の AC アダプターや市販のカーアダプターなどは絶対に使用しないでください。
コンピューター本体に AC アダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。
（本体に AC アダプターを接続しないときでも AC アダプターは約 1.2 W の電力を消費しています。）

2. ディスプレイを開けて、電源を入れる（電源スイッチを押す）。

3. Windows95 のセットアップを行う。

（初めて起動したときのみ）

以下の手順に従って操作してください

1.「ユーザー情報」画面が表示されます。名前と会社名を入力し、「次へ」をクリックしてください。
2.「使用許諾契約書」画面が表示されます。内容をよく読んだ後、同意する場合は「同意する」の左横の○をクリックし、さらに「次へ」をクリックしてください。
3.「Certificate of Authenticity」画面が表示されます。付属の『ファーストステップガイド』の表紙の「Certificate of Authenticity」に記入されている番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。
4.「ウイザードの開始」画面が表示されたら、「完了」をクリックしてください。
5. 日付と時刻を設定する画面が表示されます。日付と時刻を設定して「閉じる」をクリックしてください。
6. プリンターを設定する画面が表示されます。プリンターを接続している場合は「次へ」をクリックし、画面の表示にしたがってプリンターを設定します。接続していない場合は、「キャンセル」をクリックします。
7.「Windows95 へようこそ」画面が表示されます。「閉じる」をクリックすると下のような Windows の画面が表示されます。

終わりかた

1. **スタートボタンをクリックし、［Windows の終了］をクリックする。**

MS-DOS モードに入っている場合には、まず、「EXIT」と入力して MS-DOS モードを抜けてからスタートボタンをクリックしてください。

2. **［はい］をクリックする。**

しばらくすると自動的に電源が切れます

電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。

システムディスクの作成のしかた

◆システムディスクについて

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど、再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず、システムディスクホルダーを作成しておいてください。

まず、1.44 MBでフォーマット済みのフロッピーディスクを準備してください。必要な枚数は、「Create System Disks」の［作成するディスクセットの選択］画面に表示されます。

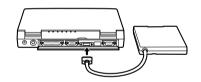
お願い

- 1.2MBフォーマット（PC98フォーマット）のディスクは使用しないでください。
- 「AL-N2保存ディスク」と「Windows95起動ディスク」は「Microsoft Windows95セットアップディスクセット」よりも前に作成してください。
- システムディスク作成中にエラーが発生した場合は、「キャンセル」ボタンを押して「Create System Disks」を終了し、Windows95を再起動してから再度実行してください。
- 「AL-N2保存ディスク」と「Microsoft Windows95セットアップディスクセット」のラベルは同梱されております。他のラベルは画面に表示されるフロッピーディスクの名称をラベルに書いてフロッピーディスクに貼ってください。

1. 外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。

2. ディスプレイを開けて、電源を入れる。

Windowsの画面が表示されます。

3. 「Create System Disks」を起動する。

システムディスクを作成していない場合は、Windowsを起動すると、指定された起動回数ごとに（標準は５回に１回）「Create System Disks」の画面が表示されます。

Windows95 の初期画面から「Create System Disks」を表示させるには、スタートボタンをクリックし、［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを置き、［Create System Disks］をクリックします。

参考

システムディスクの作成は１回のみ可能です。

4. AL-N2 保存ディスクを作成する。

『次へ』をクリックすると「作成するディスクセットの選択」画面が表示されます。「AL-N2 保存ディスク」を選択し、画面の指示に従って保存ディスクを作成してください。

お願い

付属の「AL-N2 保存ディスク」と書かれたラベルをフロッピーディスクに貼っておいてください。

5. Windows95 起動ディスクを作成する。

「作成するディスクセットの選択」画面で、「Windows95 起動ディスク」を選択し、画面の指示に従って作成します。（「Windows95 起動ディスク」は作成するディスクセットの選択の最後にあります。）

6. Windows95 のシステムディスクを作成する。

『次へ』をクリックすると、「作成するディスクセットの選択」画面が表示されます。

「Microsoft Windows95 セットアップディスクセット」を選択し、画面の指示に従いながら、Windows95 のシステムディスクを作成します。

あらかじめ、付属の Windows95 用のラベルをフロッピーディスクに貼っておいてください。

7. 各種ドライバーのバックアップ

「作成するディスクセットの選択」画面で、「各種ドライバー」を選択し、画面の指示に従って作成します。

8. Panasonic ユーティリティのバックアップ

「作成するディスクセットの選択」画面で、「Panasonic ユーティリティ」を選択し画面の指示に従って作成します。

9. MouseWare95 のバックアップ

「作成するディスクセットの選択」画面で、「MouseWare95」を選択し、画面の指示に従って作成します。

10. 各種アプリケーションのバックアップの作成。

Nifty Manager や MS-IME97 などプリインストールされているアプリケーションのバックアップを作成します。作成方法については、[スタート] → [プログラム] → [Panasonic] → [補足説明] を参照ください。

フロッピーディスクの使い方

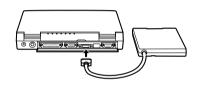
フロッピーディスクを使用するときは、付属の外付けフロッピーディスクドライブ(品番： AL-NFFE020J）を取り付けてください。ここでは、外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方と取り外し方について説明します。また、フロッピーディスクの取り扱い方についても説明します。

外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方

1. 本体の電源を切る。

❶動作中のアプリケーションを終了します。
❷電源を切ります。電源が切れたのを確認して、AC アダプターを取り外します。

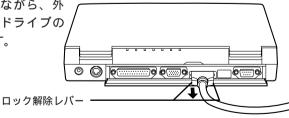
2. 外付けフロッピーディスクドライブを接続する。

本体背面の外付けフロッピーディスクドライブコネクターに外付けフロッピーディスクドライブのコネクターを接続します。
コネクターの向きに注意して、接続してください。

外付けフロッピーディスクドライブの取り外し方

1. 本体の電源を切る。

❶動作中のアプリケーションを終了します。
❷電源を切ります。電源が切れたのを確認して、AC アダプターを取り外します。

2. 外付けフロッピーディスクドライブを取り外す。

ロック解除レバーを押しながら、外付けフロッピーディスクドライブのコネクターを引き抜きます。

お願い

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、中のフロッピーディスクは取り出してください。(P.25)

フロッピーディスクの取り扱い方

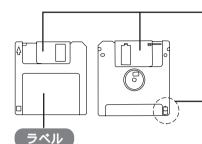
◆各部の名称と働き

シャッター

ドライブにセットするとシャッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ライトプロテクト

データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

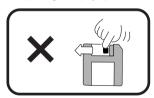
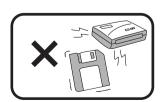
ラベル

保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。

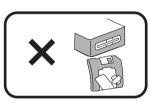
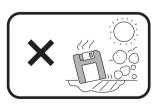
書き込み可能な状態

書き込み禁止の状態

◆取り扱い上のお願い

下記のような取り扱いをすると、記録したデータが壊れたり、フロッピーディスクが取り出せなくなることがあります。

こんなことはしないでください

シャッターを手で開ける。

ラベルを重ねてはる。

磁気ネックレスやヘッドホンステレオなど、磁気を帯びたものを近づける。

高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管する。

◆フロッピーディスクのセット／取り出し

セットする

フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入します。

取り出す

ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、フロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出します。

お願い

ドライブアクセスランプの点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れるおそれがあります。

参考

●「読み出し」・「書き込み」とは

フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。

●フォーマット

新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」（初期化）といいます。

●使用できるフロッピーディスクの種類と記憶容量

フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の2種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。

2HD —— 1.44 Mバイト／1.2 Mバイト
2DD —— 720 Kバイト

1.2 Mバイトのフロッピーディスクを読み書きするには、設定の変更をする必要があります。詳しくは、本書、解説編・環境の設定・各種設定を行うをご覧ください。

●バックアップ

ハードディスクに蓄えられたデータは、操作の誤りなどで壊されることがあります。そのような場合に備えて、データのバックアップ（ファイルの複製）をしておいてください。

バッテリーパックの使い方

AC アダプターを接続しない場合、本体の電源になるのがバッテリーパックです。室外で、または、持ち運んで使用するときに便利です。お買い上げ時には、バッテリーパックは装着されていません。以下の手順に従って取り付けてください。
また、長期間本体を使わない場合は、バッテリーパックを取り外しておくことをお勧めします。

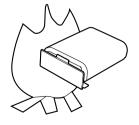
◆はじめてバッテリーパックを使用されるときに

●AL-N2 用のバッテリーパックは、内部にバッテリー容量を計測し記憶・学習するための機能を搭載しています。
●バッテリーパック内のバッテリー容量の記憶・学習機能は工場出荷段階でテストのためある程度学習させていますが、バッテリーパック内の学習機能を正しく働かせるために、はじめて充電・放電される場合は、下記のことを実行してください。
（1）お買い上げ時には充電されておりません。はじめて使用するときは必ず充電してください。
　充電する場合は、途中で AC アダプターやバッテリーパックを抜いたりしないでください。
（2）BATT インジケーターが緑に点灯したことを確認してください。
（3）はじめて放電される場合は、放電を途中で止めたり、充電をしたりしないでください。
　BATT インジケーターが赤色に点灯した状態で長時間動作する場合がありますが、異常ではありません。この時、バッテリーパック内のバッテリー容量を学習しています。
バッテリー容量を正常に学習させるためには、BATT インジケーターが赤色に点灯した後も動作させ、自動的にサスペンド又はハイバーネーションに入るまで放電を行ってください。

お願い

サスペンド中に AC アダプターとバッテリーパックの両方ともを抜くと、データが失われますのでご注意ください。(P.49)

バッテリーパックに関する注意　⚠ 危険

火の中に投入したり加熱したりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

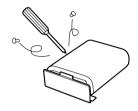
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

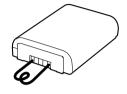
発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 危険

くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

本機専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックは一般のごみと一緒に廃棄しない

発熱・発火・破裂のおそれがあります。

●端子をテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例などに従い廃棄してください。

取り付け方

本機を縦にした状態で、挿入しないでください。

1. バッテリーパックを挿入する。

バッテリーのフタを矢印の方向へ移動させます。
バッテリーパックを挿入します。

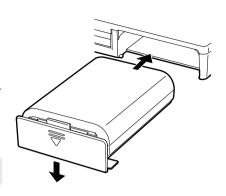
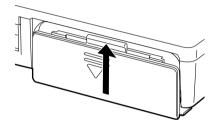
お願い

力任せに押し込まないでください。

2. バッテリーフタを閉める。

バッテリーのフタを矢印の方向へ移動させます。

お願い

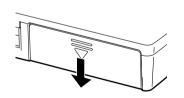
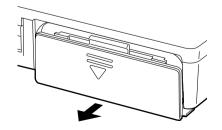
バッテリーのフタがロックされたことを確認してください。

取り外し方

1. 本体の電源を切る。

2. バッテリーのフタを開ける。

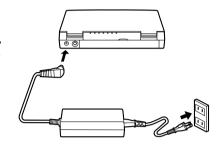
バッテリーのフタを矢印の方向へ下げ移動させます。

3. バッテリーパックを引き出す。

バッテリーパックを取り出します。

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。はじめて使用するときは、必ず充電してください。
充電は、コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態で行います。

1. ACアダプターを接続する。

充電が始まります。充電中は、挿入されているバッテリーパックに対応するコンピューター本体のBATTインジケーターがオレンジ色に点灯します。

2. 充電状態を確認する。

充電が済んだバッテリーパックに対応するコンピューター本体の、BATTインジケーターが緑色に点灯します。(P.38)
バッテリーパックの状態により、同時に終了しないことがありますが、故障ではありません。

BATTインジケーター

◆**充電時間**（使用条件により異なります。）

電源が入っているとき　約10時間（バッテリーパックを2つ装着時）
電源が切れているとき　約　3時間（バッテリーパックを2つ装着時）

参考

電源が切れている状態でも、約80 mWの電力を消費します。従って、バッテリーパック2本を満充電にしていても約14日間で放電してしまいます。再度、充電してからお使いください。

バッテリーの消耗

バッテリーが消耗すると、両方（1本だけ使用している場合は片方）のBATTインジケーターが赤く点灯し、ピーピーと音が鳴ります。その場合は、すぐにACアダプターを接続してください。
すぐにACアダプターを接続できないときは、動作中のプログラムを終了させて電源を切ってください。その後、ACアダプターを接続して、充電してからお使いください。

カードのセット

使用できるカードは、RAM モジュールと PC（PCMCIA）カードの２種類です。それぞれ専用のスロットにセットします。

◆セット／取り出しを行う前に

1. データを保存します。
2. 本体の電源を切る。
3. 電源が切れたことを確認して、AC アダプターを取り外す。
4. (RAM モジュールのセット／取り出しを行うときのみ)
   バッテリーパックを取り外す。(P.28)

RAM モジュール

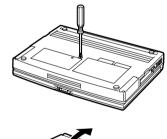
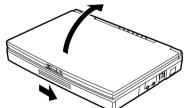
RAM モジュールを増設すると、メモリーを拡張することができます。(P.74)
64M バイト（品番：AL-NFMC640J）と 32M バイト（品番：AL-NFMC320J）の２種類の RAM モジュールを増設することができます。

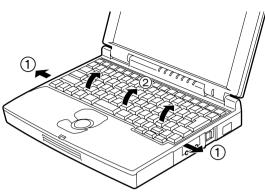
1. 本体裏面のネジを取り外す。

小型のプラスドライバーで本体裏面のキーボード固定ネジを１ヵ所取り外す。

お願い

本体裏面には、多数のネジがありますので、ネジの位置に注意してください。

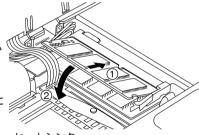
2. ディスプレイを開ける。

3. キーボードパネルを開ける。

①ラッチが左右2か所にあります。キーボード左右のキャビネットを矢印の方向に押し開いて、ラッチの押えを外しながら、
②図のようにマイナスドライバーか0.5㎜厚程度のスケールをキーボードパネルの前のミゾに差し込んで開けてください。

お願い

●キーボードパネルを開けるときは、キートップを持ち上げるとキートップのメカニズムが壊れる場合があります。
●キーボードパネルを、ディスプレイ側に無理に押し倒さないでください。パネルの支軸が破損する恐れがあります。

4. RAMモジュールをセットする／取り出す。

セットする

①ソケットのミゾに合わせて、斜め上方からしっかり差し込みます。
②矢印の方向に軽く押して、はめ込みます。フックがかかり、ロックされていることを確認してください。

ヒートシンク

お願い

●向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。
●ヒートシンクとファン、およびRAMモジュールソケットのフックは、高温になっています。電源を切ってから、1時間以上経過後に取り付けを行ってください。

取り出す

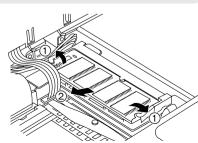
①両側のフックを開いて、ロックを外します。
②矢印の方向に、引き抜きます。

5. キーボードパネルを閉じる。

2か所のラッチがかかるように、しっかりと閉じてください。

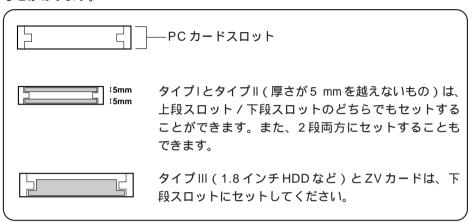
6. 本体裏面のネジを閉める。

ディスプレイを閉じて本体を裏返し、小型のプラスドライバーでキーボード固定ネジを締めます。

解説編

PC（PCMCIA）カード

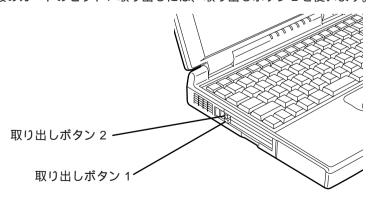
PC（PCMCIA）カードとは、JEIDA 規格に準拠したカードのことをいいます。モデムカード、IC メモリーカード、LAN カード、サウンドカードおよび 1.8 インチ HDD などがあります。

タイプⅠとタイプⅡ（厚さが 5 mm を越えないもの）は、上段スロット／下段スロットのどちらでもセットすることができます。また、2 段両方にセットすることもできます。

タイプⅢ（1.8 インチ HDD など）と ZV カードは、下段スロットにセットしてください。

お願い

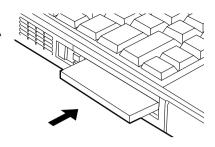
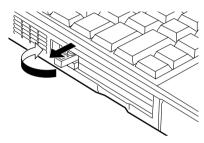
ご使用の前に、必ず、PC カードの消費電流を確認してください。PC カードスロットの許容電流を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
許容電流については、「本体仕様」（P.83）を参照してください。

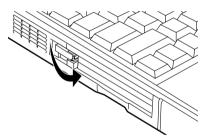
◆セットのしかた／取り出し方

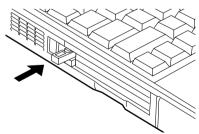
下段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 1 を、
上段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 2 を使います。

以降に、セットのしかたと取り出し方について説明します。

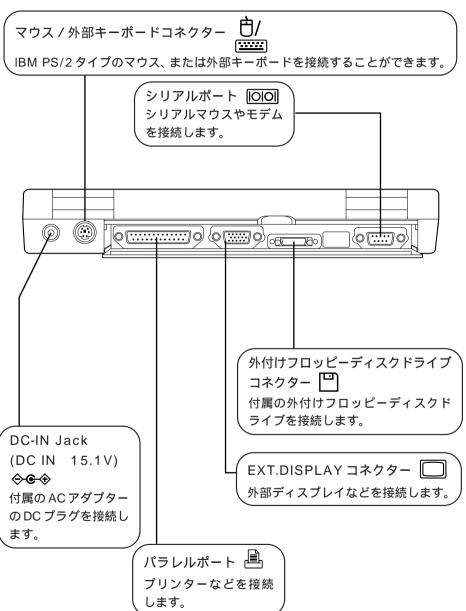
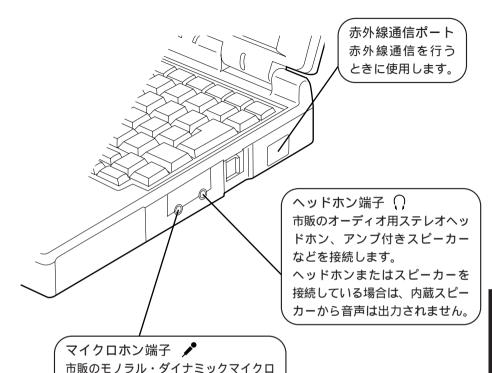
1. カードをセットする。

①カードを PC カードスロットにしっかりと差し込む。

取り出しボタンが飛び出ます。

②取り出しボタンを完全に引き出してから、折り曲げる。

2. カードを取り出す。

①取り出しボタンの折れ曲がり部分を伸ばす。

② 取り出しボタンを押す。

カードが少し出てきますので、取り出してください。

周辺機器の接続

接続および取り外しの前に、必ず本体と機器の電源を切ってください。接続後は、しっかりと接続されていることを確認してください。

お願い

●各コネクターへプラグが接続されている状態のときは、ディスプレイを後ろまでいっぱいに開かないでください。ディスプレイ背面とプラグが接触して、損傷の原因となります。
●後面のカバーは開き過ぎないように（水平位置以上は開けないように）してください。取り付け部が破損するおそれがあります。
●モノラル・ダイナミックマイクロホン以外のマイクロホンをご使用になると、音が入力できなかったり、故障の原因になる場合があります。

バッテリーの上手な使い方

バッテリーの種類

●バッテリーパック
本体内蔵用の充電式のバッテリーパックです。本体には、2 本内蔵できます。
AC アダプターを使わないときは、このバッテリーから電源が供給されます。

●クロックバッテリー
時計を動かし、初期環境などの設定内容を保持するためのバッテリーで、本体に内蔵されています。

使用温度についてのお知らせ

●本体は、使用環境温度 5 ～ 35 ℃の範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの稼動時間が短くなります。

●高温、または低温の状態で充電すると、バッテリーの充電容量が低下します。

●通常の放電時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

●使用環境温度範囲外で充電しようとした場合は、BATT インジケーターがオレンジ色に点滅して、範囲外であることを知らせます。
このようなときは、温度を範囲内に戻してから、再度、充電を始めてください。

充電についてのお願い

●出荷時には、バッテリーパックは充電されていません。ご使用前に、必ず充電してください。ＡＣアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

●充電中に、AC アダプターを抜くことは避けてください。充電が完了してから抜くようにしてください。

●他のコンピューター内や他の充電器では充電しないでください。

●充電中、BATT インジケーターが赤色に点滅した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、AC アダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、「販売店」にご相談ください。

●バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
●バッテリーパックの着脱を何度も繰り返し、その度に充電を行うと、過充電となり熱を発生します。バッテリーパックの劣化の原因となりますのでやめてください。
●バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの稼動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。

取扱上のお願い

「安全上のご注意」(P.26～27)に記載の注意事項をよく読み、取り扱ってください。
加えて、以下の点にもご注意ください。
●交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお勧めします。
●水や海水などをかけないでください。端子がさびる原因となります。
●端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。端子が汚れたときは、乾いた布、綿棒などでふいてください。
●万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服に付いた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

放電制御の種類

●バッテリー放電制御において、二つのモードが選択できます。本体のバッテリー稼動時間を長くするためにA/B同時放電（バッテリー放電制御）と省電力（CPUスピード）（P、53）を選択されることをお勧めします。放電方式の特徴と用途は下記のようになっています。

バッテリー放電制御	特徴と用途
A/B同時放電	A（左側）とB（右側）バッテリーを同時に使って動作します。B→Aの順に放電よりバッテリーに対する負荷が小さいので、同じ2本のバッテリーを使用して本体を動作させる場合は、この方式の方がバッテリー動作時間が若干長くなります。
B→Aの順に放電	2本のバッテリーの内、Bバッテリーを使って動作します。Bバッテリーが消耗した後Aバッテリーへ自動的に切替わり、本体は動作しつづけます。この設定の場合には、本体の電源を切らずに交換用のバッテリーを交換することができます。

●工場出荷状態は、A/B同時放電に設定されています。

バッテリー残量の確認

バッテリーの残量を確認する方法は、次のとおりです。

・PopUp アイコン及び BATT インジケーターで確認する

◆BATT インジケーターで確認する

BATT インジケーターの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	**充電中**
緑色に点灯	**充電完了**
赤色に点灯	**バッテリー残量なし** 充電が必要です。同時にアラームが鳴ります。 早急に AC アダプターを接続してください。 AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows も終了して POWER インジケーターが消えているのを確認してください。（使用条件により異なります。）
オレンジ色に点滅	充電できない バッテリーパックの温度が使用環境温度の範囲外にあるため、充電できません。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。
赤色に点滅	バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。AC アダプターとバッテリーパックを取り外して再度正しく装着し直してください。それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」にご相談ください。

◆バッテリー残量の少ない場合

・バッテリー残量が少なくなると（2 本時残量がそれぞれ 15 %以下）CPU スピードは、設定にかかわらず「省電力」になります。
・バッテリー残量が少なくなった時の動作を「自動的にサスペンドモードにする」に設定した場合バッテリー残量がなくなるとサスペンド状態になります。この状態の時は、AC アダプターを接続してリジュームさせてください。
・バッテリー残量が少なくなった時の動作を「自動的にハイバーネーションモードにする」に設定した場合バッテリー残量がなくなるとハイバーネーション状態になります。この状態の時は AC アダプターを接続してリジュームさせてください。

◆ PopUp アイコンで確認する

［Fn］キーを押しながら［F9］キーを押して手を離すと、しばらくの間下図のように画面にバッテリーの残量を示すアイコンが表示されます。

バッテリー残量表示

バッテリー残量表示（バッテリーが入っていないとき）

キーボードの操作

キーコンビネーション

[Fn] キーを押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。この操作を「ホットキー」と呼びます。

[F2]　LCD バックライトの輝度を切り替えます。キーを押すごとに（低輝度→通常→高輝度）の順に輝度が切り替わります。

[F3]　画面表示の表示先を切り替えます。キーを押すごとに（外部モニター→内部 LCD →同時表示→外部モニター）の順に表示先が切り替わります。
・外部モニターが接続されていない場合は、切り替わりません。

[F4]　内蔵スピーカーボリュームを下げます。

[F5]　内蔵スピーカーボリュームを上げます。音量は、下図のように画面にアイコン表示されます。なお、スピーカーオフアイコンが表示されたときは、スピーカーオフを解除してから音量を変更するようにしてください。

スピーカーオフ

音量小

音量大

［F6］　省電力設定モードを切り替えます。キーを押すごとに（標準モード→省電力モード→ユーザー設定モード→標準モード）の順に省電力設定モードを切り替えます。状態は、下図のように画面にアイコン表示されます。

標準モード　省電力モード　ユーザー設定モード

［F7］　ハイバーネーション機能＊1を働かせ、本機をハイバーネーションモードにします。

［F8］　内蔵スピーカーから出る音を消します。再度押すと元に戻ります。
状態は下図のように画面にアイコン表示されます。

スピーカーオフ　スピーカーオン

［F9］　バッテリーの充電状況が、画面にアイコン表示されます。（詳しくは「バッテリー残量の確認」（P.38）を参照してください。）

［F10］　省電力のため、ハードディスクドライブモーター、LCD、バックライトの電源を切ります。任意のキーを押すと、LCDとバックライトの電源が入ります。ハードディスクへのアクセスがあれば、ハードディスクドライブモーターの電源が入ります。

Power スイッチ　サスペンド／リジューム機能＊2またはハイバーネーション機能が有効であっても、サスペンドやハイバーネーションせずに電源を切ります。使用中のデータを保存し、Windowsを終了した状態で使ってください。

参考

＊1 ハイバーネーション機能
ハードディスクに電源を切る前の状態が保存され、次回電源を入れたときに、すぐに切る前の状態に戻ることができる便利な機能です。

＊2 サスペンド／リジューム機能
ハイバーネーション機能とほぼ同じ役割をします。ただし、ハイバーネーション機能では、電源を切る前の動作状態をハードディスクに保存しますが、サスペンド／リジューム機能ではメモリーに保存するだけです。従って、ACアダプターもしくはバッテリーパックのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。
詳しくは、「省電力設定」（P.49）を参照してください。

お願い

- システム起動中、あるいはサスペンド／リジュームやハイバーネーション処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音がみだれる事があります。

特殊キー

［Esc］ アプリケーションソフトによって機能が異なります。

［ScrLK］ アプリケーションソフトによって機能が異なります。

［NumLK］ ［Shift］キーを押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。
NumLK インジケーター点灯時：テンキー有効
この状態で［Fn］キーを押しながら入力すると、テンキー無効になります。
NumLK インジケーター消灯時：テンキー無効
この状態で［Fn］キーを押しながら入力すると、カーソルや画面の移動キーとして使用できます。

［Pause/Break］ プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。［Ctrl］キーを押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

［CapsLock/英数］ 英数字入力になります。［Shift］キーを押しながら押した場合は、CapsLock 状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。CapsLock 状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、［Shift］キーを押しながらアルファベットキーを押すと、小文字入力になります。

［Enter］ コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

［Shift］ 通常、このキーとともにアルファベットキーが押されると、大文字入力になります。また、このキーとともに数字キーか特殊キーが押されると、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

［Ctrl］ 他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

［Alt］ 他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

環境の設定

動作環境を設定する

本機には2種類の動作環境設定ユーティリティが搭載されており、それぞれ以下の特徴があります。

＜セットアップユーティリティ＞

本機に搭載するすべての設定項目を変更することができます。
設定を行うにはWindows 95を終了する必要があります。
（以下本文ではROM SETUPと呼びます）

＜パワーマネージメント設定＞

本機に搭載する機能のうち、省電力関係の設定を変更することができます。
Windows 95上で設定を行うことができ、Windows 95を再起動することなく設定を反映することができます。
（以下本文ではWIN SETUPと呼びます）

◆設定内容

本機では以下の設定ができます。

＜システム設定＞

ROM SETUPで設定します。
起動時のテンキー設定、トラックボールの有効・無効化、BIOS確認音、本機起動時の起動ドライブなどを設定します。

＜システム詳細設定＞

ROM SETUPで設定します。
PCカード、パラレルポート、赤外線ポート、シリアルポート、サウンドポートの設定を行います。

＜ビデオ設定＞

ROM SETUPで設定します。
外部モニターと内部ＬＣＤとの画面表示の切替、グラフィックやテキストの拡張表示の有効・無効化などを設定します。

＜セキュリティー設定＞

ROM SETUPで設定します。
データ等を保護するためのパスワード機能を設定します。

＜省電力設定＞

ROM SETUPおよびWIN SETUPにて設定します。
消費電力を抑えるための各種設定を行います。

◆セットアッププログラムを起動する

＜ROM SETUP＞

Windows 95を終了し、再度電源を入れます。「Press F1 for Setup」が表示されているときに［F1］キーを押します。

- ［F1］キーを押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティーは起動しません。そのときはWindows 95を終了し、やり直してください。
- パスワードを設定している時は、F1キーを押した後、パスワード入力が要求されます。この時は、パスワードを入力してROM SETUPを起動して下さい。
- ROM SETUPの操作方法は、起動後画面下部に表示されます。

＜WIN SETUP＞

Winodows 95の［スタート］メニューから［プログラム］→［Panasonic］→［パワーマネージメント設定］を選択し起動します。

◆システム設定

システム設定はROM SETUPで設定します。

ROM SETUPを起動すると以下の画面が表示されます。

解説編

システム設定を選択すると以下の画面が表示されます。

< NumLK >

起動時にテンキー（青色で印刷された数字等）による入力を有効にするかどうかを設定します。「オン」「オフ」から選択します。「オン」を選択すると、テンキーを使っての数値入力ができる状態で起動します。デフォルト設定は「オフ」です。

<トラックボール>

トラックボールを使用するかどうかを設定します。「有効」「無効」から選択します。「無効」を選択するとトラックボールは動作しなくなります。外部マウスが正常に動作しない場合は、トラックボールを「無効」に設定してみてください。デフォルト設定は「有効」です。

< BIOS 確認音>

システム起動時、サスペンド時、ハイバーネーション時の BIOS 確認音（ピッという音）を設定します。「有効」「無効」から選択します。デフォルト設定は「有効」です。

<起動ドライブ>

システムを起動するドライブを設定します。［HDD → FDD］［FDD → HDD］から選択します。デフォルト設定は「FDD → HDD」です。

◆システム詳細設定

システム詳細設定を選択すると以下の画面が表示されます。

＜デバイス制御モード＞

デバイスの制御モードをシステム詳細設定で設定したI/Oポートを使用するか、またはプラグ＆プレイ インターフェースを使用するかを設定します。「手動設定」「プラグ＆プレイ」から選択します。

プラグ＆プレイをサポートしていないオペレーティングシステムを使用する場合は、必ず「手動設定」を選択してください。

「プラグ＆プレイ」を選択した場合でも、「PCカード動作モード」、「パラレルポート：モード」、「赤外線ポート：モード」、「サウンドポート有効・無効」は設定した内容が使用されます。デフォルト設定は「手動設定」です。

＜PC Card動作モード＞

PC Cardコントローラの動作モードを設定します。CardBusモードで動作するカードを使用する場合のみ「CardBusモード」に設定してください。デフォルト設定は「PCIC互換モード」です。

＜パラレルポート＞

パラレルポートのアドレスを設定します。「278, IRQ5」「3BC, IRQ7」「378, IRQ7」「無効」から選択します。サウンドポートのIRQと重なった場合、自動的にサウンドポートIRQを別のIRQに変更します。デフォルト設定は「378, IRQ7」です。

＜パラレルポート動作モード＞

パラレルポートの動作モードを設定します。「単方向」「双方向」「EPP」「ECP」から選択します。「EPP」及び「ECP」モードは、パラレルポート設定が「278」、「378」のときのみ選択可能です。デフォルト設定は「双方向」です。

＜パラレルポートDMA＞

パラレルポート動作モードをECPに設定したときに使用するDAMチャネルを設定します。「DMA 0」「DMA 1」から選択します。サウンドポートDMA-A、サウンドポートDMA-Bと重ならないように設定してください。デフォルト設定は「DMA 0」です。

解説編

＜赤外線ポート＞

赤外線ポートのアドレスを設定します。「3F8、IRQ4」「2F8、IRQ3」「無効」から選択します。シリアルポートのアドレスと異なった場合自動的にシリアルポートのアドレスを別のアドレスに変更します。デフォルト設定は「2F8、IRQ3」です。

＜赤外線ポート動作モード＞

赤外線ポートの動作モードを設定します。「IrDA」「ASK」から選択します。
Windows 95の赤外線を使用する場合は、「IrDA」を設定してください。デフォルト設定は「IrDA」です。

＜シリアルポート＞

シリアルポートのアドレスを設定します。「3F8、IRQ4」「2F8、IRQ3」「無効」から選択します。赤外線ポートのアドレスと重なった場合、自動的に赤外線ポートのアドレスを別のアドレスに変更します。デフォルト設定は「3F8、IRQ4」です。

＜サウンドポート＞

サウンドチップ動作を設定します。「有効」「無効」から選択します。「無効」を選択するとサウンドに関する設定はすべて無効になります。デフォルト設定は「有効」です。

＜サウンドポート Sound Blaster互換I/O＞

Sound Blaster互換モードのI/Oアドレスを設定します。「220」「240」「260」「280」から選択します。サウンドチップの項目が「無効」に設定されているとき、この項目は選択できません。デフォルト設定は「220」です。

＜サウンドポート WSS CODEC I/O＞

WSS CODECのI/Oアドレスを設定します。「530」「640」「E80」「F40」から選択します。サウンドチップの項目が「無効」に設定されているとき、この項目は選択できません。デフォルト設定は「530」です。

＜サウンドポート IRQ＞

サウンドチップのIRQを設定します。「IRQ5」「IRQ7」「IRQ11」から選択します。パラレルポートと同じIRQは、選択できません。デフォルト設定は「IRQ5」です。

＜サウンドポート DMA-A＞

サウンドチップのDMAを設定します。「DMA 0」「DMA 1」「DMA 3」から選択します。パラレルポートDMA、サウンドポートDMA-Bと重ならないように設定してください。デフォルト設定は「DMA 3」です。

＜サウンドポート DMA-B （Sound Bluster）＞

サウンドチップのDMAを設定します。「DMA 0」「DMA 1」「DMA 3」から選択します。パラレルポートDMA、サウンドポートDMA-Aと重ならないように設定してください。デフォルト設定は「DMA 1」です。

◆ビデオ設定

ビデオ設定は ROM SETUP で設定します。

<ディスプレイ>

ディスプレイの初期状態を設定します。「内部 LCD」「外部ディスプレイ」「同時表示」から選択します。デフォルト設定は「外部ディスプレイ」です。

参考

外部モニターが接続されていない場合は、内部 LCD 表示で起動します。このとき、外部モニターに表示するには、外部モニターを接続の上、ホットキー（[Fn] キーを押しながら [F3] キーを押す）を押し、表示先を切り替えます。

<テキスト拡張表示>

英語 DOS モードなど、テキストモードの 640 × 480 サイズ以下の画面を LCD いっぱいに拡張して表示する機能です。「有効」「無効」から選択します。デフォルト設定は「無効」です。

<グラフィックス拡張表示>

日本語 DOS モードなど、グラフィックスモードで 640 × 480 サイズ以下の画面を LCD いっぱいに拡張して表示します。デフォルト設定は「無効」です。

◆セキュリティー設定

セキュリティー設定はROM SETUPで設定します。

<ユーザーパスワード>

起動時のパスワードを設定します。「有効」に設定すると、起動時にパスワード入力が要求されます。そのときにパスワードの入力を間違えると起動しません。デフォルト設定を実行しても設定は変わりません。

パスワードを新規に設定する・変更する場合

1. **「ユーザーパスワード入力」欄に設定（変更）するパスワードを入力します。**

2. **「ユーザーパスワード再入力」欄に再度、設定（変更）するパスワードを入力します。**

お願い

コントロールキー、カーソルキー、特殊キー、ファンクションキー、タブキー、スペースキー、バックスペースキーは、パスワードとして使用できません。また、キーボード・コネクターに外部キーボードを接続しているときでも内部キーボードを使って入力してください。

3. **「ユーザーパスワード登録（変更）」欄を選択し［Enter］キーを押します。**

パスワードを無効に設定する場合

1.「ユーザーパスワード削除」を選択する。

お願い

設定したパスワードは、手帳などにメモしておくことをお勧めします。
電源のON/OFFやリセットを行ったり、サスペンド／リジューム機能を使用した場合にパスワードの入力が必要になります。

◆省電力設定

＜サスペンド／リジューム機能とは＞

電源を切った後、再度電源を入れたときに、電源が切れる前の状態に戻すことができる便利な機能です。この機能により、中断した操作をすぐに再開することができます。ただし、バッテリーパックもしくはACアダプターのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。

＜ハイバーネーション機能とは＞

電源を切る前の状態がハードディスクに保存され、次回、電源を入れたときに、切る前の状態にすぐに戻ることができる機能です。
サスペンド／リジューム機能との違いは、メモリー上のデータが、いったんハードディスクに保存されることです。電源の供給がなくてもデータを保持することができるので、ハイバーネーション機能を有効にして電源スイッチを切った後、バッテリーパックとACアダプターの両方を取り外しても、次回、電源を入れたときには元の状態に戻ることができます。

サスペンド／リジューム機能やハイバーネーション機能を使うと、以下のようなことが行えます。
- アプリケーションプログラムを使っているとき、アプリケーションプログラムから抜けなくても、単に電源を切ったり入れたりするだけでプログラムを中断させたり再開させたりできます。
- ROM SETUPおよびWIN SETUPで「サスペンドタイムアウト」を設定していると、一定時間コンピューターを触らなかった場合に自動的に電源を切って、電力の消費を抑えます。再度電源を入れたときには、切る前の状態に戻ります。

お願い

- ●バッテリーパックのみでサスペンド／リジュームを行うと、本体の電源を入れても、電源が切れる前の状態に戻らないことがあります。ACアダプターをつなぐか、十分充電してから、電源を入れてください。
- ●サスペンド／リジューム処理中は、トラックボール、マウスを動かさないでください。動かすと、リジュームした後、トラックボールやマウスが動作しなくなります。
- ●フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブの動作中は、絶対に、コンピューターの電源スイッチを押さないでください。

＜サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能使用上のお願い＞

●マウス、モデム、その他のシリアルデバイスは、サスペンド／リジューム後、システムに認識されないことがあります。そのようなときには、デバイスを初期化し直してください。

●PC カードなど周辺装置が本機に接続されている場合、サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能はこれらの周辺装置では使えません。
また、サスペンド中にPC カード電源を切らない設定にしてPC カードをセットしたままサスペンド状態に入ると、サスペンド中の消費電力が増えることがあります。

●サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は、以下のアプリケーションプログラム動作中には使用できないことがあります。
　Windows95 や MS-DOS 以外の OS
　DIAG（自己診断）プログラム

●通信ソフト動作中やネットワーク使用中はサスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は使用しないでください。エラーが発生します。

●オーディオの録音または再生中は、サスペンド状態およびハイバーネーション状態にしないでください。実行ファイルとデータが壊れる可能性があります。

＜サスペンド／リジューム機能使用上のお願い＞

●リセットスイッチを押すと、サスペンド／リジューム機能によって保存されていたデータは失われます。

＜ハイバーネーション機能使用上のお願い＞

●ハイバーネーション機能を使用するには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用として一定の領域が必要です。領域は、出荷時に確保してありますが、メモリーを増設したときや、HDD をフォーマットしたときには、領域を確保し直す必要があります。詳しくは、本書、解説編・環境の設定・各種設定を行う中の「ハイバーネーション用データエリアについて」をご覧ください。

参考

サスペンド／リジューム機能を有効に設定している場合に、電源を切ったときの状態を「サスペンド状態」、次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジュームする」と言います。

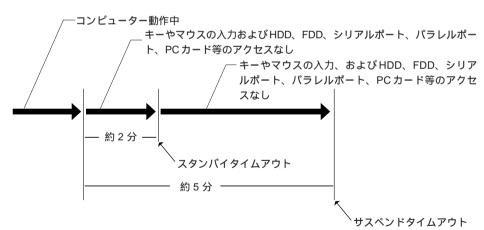
<サスペンドタイムアウト機能とは>

一定時間、キーやトラックボール、マウスの入力およびHDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PCカード等のアクセスがないと、自動的に電源を切る機能です。

動作がサスペンドタイムアウト機能によって中断された場合、再度電源スイッチを入れると、元の画面が復元されます。

<スタンバイ機能とは>

一定時間、キーやトラックボールの入力およびHDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PCカード等のアクセスがないと、ハードディスクドライブモーターを止めて、LCD、バックライトを消します。スタンバイタイムアウトとサスペンドタイムアウトの両方が設定されている場合は、スタンバイ状態に入った後、サスペンド状態またはハイバーネーション状態になります。
スタンバイ機能を設定するには、ROM SETUPまたは、WIN SETUPを起動し、「省電力」設定の項目で「スタンバイタイムアウト」の項目を設定します。

例）　スタンバイタイムアウト：約2分
　　　サスペンドタイムアウト：約5分

［Fn］キーを押しながら［F10］キーを押すと、コンピューターがスタンバイ状態になります。キーボード（［Fn］キーを除く）、トラックボール／マウスポートの入力があった場合には、再びLCDとバックライトの電源が入ります。

省電力設定は ROM SETUP, WIN SETUP のどちらでも設定できます。

ROM SETUP で設定する場合

＜バッテリーモード省電力設定＞

バッテリーモード省電力設定を選択すると以下の画面が表示されます。

省電力モード
起動時の、バッテリーで使用するときの省電力モードを設定します。
「標準」「省電力」「ユーザー設定」より選択します。下表の通り、「標準」を選択すると処理速度重視の設定に、「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、各項目を下表の選択肢から設定できます。これらの設定は、ホットキー（[Fn] キーを押しながら [F6] キーを押す）で一時的に変更することができますが、起動時にはここで設定した内容で動作します。デフォルト設定は「省電力」です。

	標準	省電力	ユーザー設定
CPU スピード	100 %	25 %	100 %, 75 %, 50 %, 25 %, 12.5 %
CPU スピードチェンジモード	無効	有効	有効、無効
スタンバイタイムアウト	30 分	2 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
サスペンドタイムアウト	無効	10 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
HDD モータータイムアウト	無効	2 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
LCD バックライト	明	暗	明, 中, 暗

CPU スピード
バッテリーで使用するときの CPU の動作速度を設定します。

CPU スピードチェンジモード
一定時間キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PC カード等のアクセスがなければ、CPU がストップする機能です。入力やアクセスが発生すると、CPU は元のスピードに戻ります。Windows を使用しているときは、より効率的な節電方法が行われるため、この設定は無視されます。

スタンバイタイムアウト
設定した時間 キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PC カード等のアクセスがなければ、ディスプレイがオフになり、システムはスタンバイモードになる機能です。入力やアクセスが発生すると、ディスプレイの表示が元に戻ります。

サスペンドタイムアウト
設定した時間キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポートのアクセスがなければ、システムがサスペンドする機能です。パワースイッチの動作を「ハイバーネーションする」に設定していると、ハイバーネーションします。

HDD モータータイムアウト
設定した時間、HDD にアクセスがなければ、HDD モーターが停止する機能です。アクセスが発生すると HDD は元の状態に戻ります。

LCD バックライト
バッテリーで使用するときの LCD バックライトの輝度を設定します。暗くするほど消費電力は小さくなります。

＜ACモード省電力設定＞

ＡＣモード省電力設定を選択すると以下の画面が表示されます。

省電力モード

起動時の、AC アダプターを接続して使用するときの省電力モードを設定します。「標準」「省電力」「ユーザー設定」より選択します。下表の通り、「標準」を選択すると処理速度重視の設定に、「省電力」を選択すると消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、各項目を下表の選択肢から設定できます。これらの設定は、ホットキー（[Fn] キーを押しながら［F6］キーを押す）で一時的に変更することができますが、起動時にはここで設定した内容で動作します。デフォルト設定は「標準」です。

	標準	**省電力**	**ユーザー設定**
CPU スピード	100 %	25 %	100 %, 75 %, 50 %, 25 %, 12.5 %
CPU スピードチェンジモード	無効	有効	有効、無効
スタンバイタイムアウト	30 分	2 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
サスペンドタイムアウト	無効	10 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
HDD モータータイムアウト	無効	2 分	1 分, 2 分, 5 分, 10 分, 15 分, 30 分, 無効
LCD バックライト	明	暗	明, 中, 暗

各項目の説明は、＜バッテリーモード省電力設定＞をご覧ください。

<リジュームタイマー>

設定した時刻にサスペンドモードから復帰する機能です。「有効」「無効」から選択し、「有効」を選択した場合は復帰する時刻を入力します。デフォルト設定は「無効」です。

お願い

- ●パネルスイッチ設定が「サスペンド」でLCDパネルが閉じられている場合は復帰しません。リジュームタイマーを使用するときはパネルスイッチ設定を「LCDオン－オフ」にするか、LCDパネルを開けた状態で御使用ください。
- ●リジュームタイマー機能は、ハイバーネーションモードからは復帰できません。このため、下記の自動ハイバーネーション機能を設定すると、一定時間でハイバーネーションモードに入るため、設定時刻に復帰できないことがあります。

<パワースイッチ>

コンピューターの電源スイッチを操作したときの動作を設定します。「オン－オフ」「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。デフォルト設定は「サスペンド」です。

<パネルスイッチ>

パネルを閉じたときの動作を「LCDオン－オフ」「サスペンド」から選択します。「サスペンド」を選択しLCDを閉じるとシステムがサスペンド状態になり、LCDを開くと、リジュームします。LCDを閉じている間はサスペンド状態を維持します。電源スイッチでリジュームさせることはできません。Windows 95など、APMインターフェースで省電力を制御するシステムでは、サスペンドできない場合もありますので、LCDを閉じたときパワーLEDが消灯したことを確認してください。デフォルト設定は「LCDオン－オフ」です。

<サスペンドメニュー>

Windows 95の［スタート］→［サスペンド］メニューをクリックしたときの動作を設定します。「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。デフォルト設定は「サスペンド」です。

<PCカード電源>

サスペンド状態のときのPCカードの電源を設定します。「オン」「オフ」から選択します。「オフ」を選択すると、サスペンド中はPCカードの電源が強制的に切断されます。この設定のときカードによっては、次回コンピューターの電源を入れたときに正常に動作しないことがあります。デフォルト設定は「オン」です。

<自動ハイバーネーション>

サスペンド状態から設定時間経過すると、自動的にハイバーネーション状態になる機能です。「無効」「5分」「10分」「30分」「60分」「120分」より選択します。この機能はサスペンド状態になってから動作します。デフォルト設定は「無効」です。

＜バッテリー設定：放電方法＞

２本のバッテリーを同時に放電するか、または１本ずつ放電するかを設定します。「A/B 同時放電」「B→Aの順に放電」から選択します。「A/B 同時放電」を選択すると、２本のバッテリーを同時に放電します。「B→Aの順に放電」を選択すると、Bバッテリーから先に放電します。「A/B 同時放電」を選択した方が若干使用時間が増えます。デフォルト設定は「A/B 同時放電」です。

＜バッテリー設定：残量が少ないとき＞

バッテリー残量が少なくなって、これ以上システムの動作を継続できなくなったときのシステムの動作を設定します。「サスペンド」「ハイバーネーション」から選択します。デフォルト設定は「サスペンド」です。

WIN SETUP で設定する場合

Winodows 95の［スタート］メニューから［プログラム］→［Panasonic］→［パワーマネージメント設定］を選択し起動します。

＜モード設定＞

［モード設定］タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

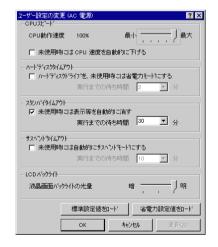
AC 電源の場合

システム起動時の、ACアダプターを接続して使用するときの省電力モードを次の３種類のモードから選択します。「標準」を選択すると、システムは処理速度重視の設定になります。「省電力」を選択すると、システムは消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、詳細に設定を行う［設定の変更］ボタンが有効になります。これらの設定は、ホットキー（［Fn］キーを押しながら［F6］キーを押す）で一時的に変更することができますが、システム起動時にはここで設定した内容で動作します。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「標準」になります。

バッテリー電源の場合　システム起動時の、バッテリーで使用するときの省電力モードを次の３種類のモードから選択します。「標準」を選択すると、システムは処理速度重視の設定になります。「省電力」を選択すると、システムは消費電力重視の設定になります。「ユーザー設定」を選択すると、詳細に設定を行う［設定の変更］ボタンが有効になります。これらの設定は、ホットキー（［Fn］キーを押しながら［F6］キーを押す）で一時的に変更することができますが、システム起動時にはここで設定した内容で動作します。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「省電力」になります。

［設定の変更］ボタン　省電力機能を詳細に設定するときにクリックします。このボタンはAC電源の場合、バッテリー電源の場合ともそれぞれユーザー設定を選択しているときにクリックできます。

＜ユーザー設定＞

［モード設定］で［設定の変更］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

参考

ユーザー設定には、ＡＣアダプターを接続して使用するとき、バッテリーで使用するとき、が独立に用意されています。

CPU動作速度　CPUの動作速度を「100％」、「75％」、「50％」、「25％」、「12.5％」から選択します。

未使用時には CPU 速度を自動的に下げる	一定時間キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PC カード等のアクセスがなければ、CPU がストップする機能です。入力やアクセスが発生すると、CPU は元のスピードに戻ります。キーやマウスの入力待ちのような場合、節電のために CPU の動作を停止させます。Windows 95 を使用しているときは、より効率的な節電方法が行われるため、この設定は無視されます。
ハードディスクタイムアウト	設定した時間、HDD にアクセスがなければ、HDD モーターが停止する機能です。アクセスが発生すると HDD は元の状態に戻ります。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を「1 分」「2 分」「5 分」「10 分」「15 分」「30 分」から選択します。
スタンバイタイムアウト	設定した時間 キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PC カード等のアクセスがなければ、ディスプレイがオフになり、システムはスタンバイモードになる機能です。入力やアクセスが発生すると、ディスプレイの表示が元に戻ります。 有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を「1 分」「2 分」「5 分」「10 分」「15 分」「30 分」から選択します。
サスペンドタイムアウト	設定した時間キーボード、マウス、トラックボールの入力や、HDD、FDD、シリアルポート、パラレルポート、PC カード等のアクセスがなければ、システムがサスペンドする機能です。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を「1 分」「2 分」「5 分」「10 分」「15 分」「30 分」から選択します。パワースイッチの動作を「ハイバーネーションする」に設定していると、ハイバーネーションします。
LCD バックライト	ＡＣアダプターを接続して使用するときの LCD バックライトの輝度を、「明」「中」「暗」から選択します。暗くするほど消費電力は少なくなります。
［標準設定値をロード］ボタン	ユーザー設定の各項目に、モード設定で標準を選択したときの値を設定します。
［省電力設定値をロード］ボタン	ユーザー設定の各項目に、モード設定で省電力を選択したときの値を設定します。

＜動作設定＞

［動作設定］タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

パワースイッチの動作

コンピューターの電源スイッチを操作したときの動作を「サスペンドモードにする」「ハイバーネーションモードにする」「電源を切る」から選択します。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「サスペンドモードにする」になります。

［スタート］メニュー［サスペンド］コマンドの動作

Windows95の［スタート］→［サスペンド］メニューをクリックしたときの動作を「サスペンドモードにする」「ハイバーネーションモードにする」から選択します。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「サスペンドモードにする」になります。

パネルを閉じたときの動作

LCDパネルを閉じたときの動作を「LCDをオフにする」「サスペンドモードにする」から選択します。「サスペンドモードにする」を選択しLCDパネルを閉じるとシステムがサスペンドになり、LCDパネルを開くと、リジュームします。LCDパネルを閉じている間はサスペンドモードを維持します。電源スイッチでリジュームさせることはできません。Windows95など、APMインターフェースで省電力を制御するシステムでは、サスペンドモードにできない場合もありますので、LCDを閉じたときパワーLEDが消灯したことを確認してください。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「LCDをオフにする」になります。

サスペンドモードからハイバーネーションモードへの移行　サスペンド状態から設定時間経過すると、自動的にハイバーネーション状態になる機能です。有効にするには、チェックボックスをチェックし、実行までの待ち時間を「5分」「10分」「30分」「60分」「120分」から選択します。この機能はサスペンド状態になってから動作します。[標準に戻す] ボタンをクリックすると無効になります。

サスペンドモード時にはＰＣカード電源をオフする　サスペンドモードのときのＰＣカードの電源を設定します。チェックボックスをチェックすると、サスペンド中はＰＣカードの電源が強制的に切断されます。この設定のときカードによっては、次回コンピューターの電源を入れたときに正常に動作しないことがあります。[標準に戻す] ボタンをクリックすると、無効になります。

＜バッテリー設定＞

［バッテリー設定］タブをクリックすると以下の画面が表示されます。

＜バッテリー放電方法＞

2本のバッテリーを同時に放電させるか、または1本ずつ放電させるかを設定します。「バッテリーB→A」を選択すると、Bバッテリーから先に使用します。「バッテリーA，Bを同時に放電する」を選択すると、2本のバッテリーを同時に使用します。「バッテリーA，Bを同時に放電する」を使用した方が若干使用時間が増えます。[標準に戻す] ボタンをクリックすると、「バッテリーA, Bを同時に放電する」になります。

＜バッテリー残量が少なくなったときの動作＞

バッテリー残量が少なくなって、これ以上システムの動作を継続できなくなったときのシステムの動作を「自動的にサスペンドモードにする」「自動的にハイバーネーションモードにする」から選択します。［標準に戻す］ボタンをクリックすると、「自動的にサスペンドモードにする」になります。

画面の解像度と色数

画面の解像度と色数は下表の○印をサポートしています。

○-表示可能

	外部モニター	内部LCD	同時表示
640×480　16色	○	○	○　＊3
640×480　256色	○	○	○　＊3
640×480　64k色　＊1	○	○	○　＊3
640×480　16M色　＊2	○	○	○＊3＊5
800×600　256色	○	○	○
800×600　64k色　＊1	○	○	○
1024×768　256色	○	○	○　＊4

＊1　Windows 95の場合は、High Colorという表現になります。
＊2　Windows 95の場合は、True Colorという表現になります。
＊3　640×480の内部LCD又は同時表示は、画面の中央に小さく表示されます。
＊4　1024×768の同時表示は、画面全体の一部（800×600）が表示されます。
＊5　LCDの表示は、260k色となります。

初期環境を再インストールする

Windowsなどは、あらかじめハードディスクにインストールされていますが、ハードディスクが壊れたり、内容を消去してしまった場合、以下の手順に従って、再インストールすることができます。
再インストールの際には、フロッピーディスクを使用しますので、あらかじめ、外付けフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。また、はじめて起動したときに作成したシステムディスクを使用しますので、準備してください。

お願い

再インストール中は、電源を切ったりサスペンド状態にならないようにしてください。

参考

再インストールを行っても、ハードディスクの内容すべてを、初期状態にもどすことはできません。一部のプログラムは再インストールされません。

1. ROM SETUPの設定をデフォルト設定にする。

再インストールする前に、ROM SETUPの設定をデフォルト設定にします。

1. ROM SETUPを起動します。
2. 最初の画面で「デフォルト設定」を実行してください。
3. 設定を保存してシステムを再起動します。

2. ハードディスクを初期化する。

Windows 95をインストールする前に、ハードディスクを初期化します。ハードディスク上の必要なファイルは、バックアップをとっておいてください。
ハードディスクの初期化方法は、FAT16とFAT32の２種類の方法があります。出荷状態にするためにはFAT16で初期化してください。コンピュータに関して詳しい知識のない方は、FAT16で初期化することをお勧めします。
FAT32で初期化するとディスクの使用効率が向上しますが、次の点に注意してください。

●FAT32をサポートしていないオペレーティングシステムから起動したとき、FAT32で初期化したディスクは読めません。
　例：DOSをフロッピーディスクから起動したとき、Windows 95のファイルは読めません。

●FAT32に対応していないディスク管理ユーティリティを実行すると、ハードディスクの内容が壊れることがあります。

●ハイバーネーション領域を最初に設定しておく必要があります。この領域サイズは後で変更ができません。変更するためには一度ハードディスクの内容を消去する必要があります。（FAT16で初期化した場合、ハイバーネーション領域はファイルとして確保できますので、サイズの変更が可能です。）

【FAT16で初期化する】

1. あらかじめ作成しておいた「AL-N2保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットしてコンピュータを起動します。
2. FORMAT C：［Enter］と入力します。
3. ハードディスクがFAT16でフォーマットされます。
4. HBUTIL. EXEでハイバーネーション領域をファイルとして確保します。方法は、「ハイバーネーション用データエリアについて」をご参照ください。

【FAT32で初期化する】

1. あらかじめ作成しておいた「AL-N2保存ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットしてコンピュータを起動します。
2. あらかじめ作成されているFAT16領域を削除します。
   FDISK［Enter］と入力します。
   「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか（Y/N）....？」というメッセージが表示されますので、[N]を入力して次に進みます。
   「領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択して領域を削除してください。
   削除が完了したら、コンピュータを再起動します。
3. HBUTIL. EXEでハイバーネーション領域を確保します。方法は、「ハイバーネーション用データエリアについて」をご参照ください。
   確保できたら、コンピュータを再起動します。
4. FAT32領域を確保します。
   FDISK［Enter］と入力します。
   「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか（Y/N）....？」というメッセージが表示されますので、[Y]を入力して次に進みます。
   「MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択してFAT32領域を確保してください。操作が終了したら、コンピュータを再起動します。
5. FORMATコマンドで、領域をフォーマットしてください。

3. Windows 95をインストールする。

あらかじめ作成しておいた「セットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、コンピューターを再起動します。

1. 「キーボードのタイプを判別します」のメッセージが表示されたら、[半角／全角（漢字)］キーを押してください。
2. 「セットアップへようこそ」画面が表示されます。画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。
3. 「セットアップディスク-3」のインストール中に、「コンピュータの調査」画面が表示されます。「サウンド、MIDI、またはビデオキャプチャーカード」の左側の□をクリックしてチェックマークを付けてから「次へ」をクリックします。
4. 「Windowsファイルの選択」画面が表示されたら、「インストールするオプションファイルを選択する」の左側の◯をクリックして「次へ」をクリックします。
   「インストールするファイルの選択」画面が表示されますので、必要なアプリケーションを選択してください。
   「ディスク管理ツール」→「バックアップ」は各種アプリケーションのインストールに必要ですので、必ず選択してください。
   選択が終わったら、「次へ」をクリックしてインストールを続けます。

お買い上げの設定にするには各項目を次のように設定してください。

項目	設定値
インストールするフォルダ	C:¥WINDOWS
セットアップ方法	標準
ラージディスクサポート	使用しない

4 Windows 95の最終設定をする。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク3」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行（R)」をクリックします。
3. 「名前（O)」に「A:\RESTWIN」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
4. DOSウインドウのタイトルバーに「完了－restwin」と表示されたら右上の「×」マークをクリックしてDOSウインドウを閉じてください。
5. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク3」を抜きます。
6. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了（U)」をクリックします。
7. 「コンピュータを再起動する（R)」を選択して「はい（Y)」をクリックします。

5 PCカードを使用できるように設定する。

1. 「スタートボタン」をクリックし、「設定（S)」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C)」をクリックして「システム」アイコンをダブルクリックします。
3. 「システムのプロパティ」ウインドウの「デバイスマネージャー」タブをクリックすると、次のような画面が現れます。

4. 「その他のデバイス」のツリーにある「PCI CardBus Bridge」を２つとも削除します。
5. 「閉じる」をクリックします。
6. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了（U）」をクリックします。
7. 「コンピュータを再起動する（R）」を選択し、「はい（Y）」をクリックします。
8. Windows 95の再起動中に、Windows 95システムディスクを要求されますので、画面の指示に従ってください。
9. Windows 95が起動したら、フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク３」をセットします。
10. 「スタートボタン」をクリックし、「ファイル名を指定して実行（R）」をクリックします。
11. 「名前（O）」に「A：\PCIC」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
12. DOSウインドウのタイトルバーに「完了－pcic」と表示されたら、右上の［X］マークをクリックしてDOSウインドウを閉じてください。
13. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク３」を抜きます。
14. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了（U）」をクリックします。
15. 「コンピュータを再起動する（R）」を選択し、「はい（Y）」をクリックします。
16. Windows 95が再起動したら、「コントロールパネル」の「PCカード（PCMCIA）」アイコンをダブルクリックします。
17. 「PCカード（PCMCIA）ウィザード」が起動したら、指示に従って設定を行います。
18. 最後に、「はい（Y）」をクリックしてコンピュータを再起動します。（ここで電源がきれたまま再起動しない場合は、電源スイッチを押してください。）

6 ビデオドライバーのインストールと画面の設定を行う。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ドライバディスク1」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
3. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「画面」アイコンをダブルクリックします。
4. 「画面のプロパティ」ウインドウの「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ（A）」をクリックします。
5. 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウインドウの「アダプター」タブをクリックし、「変更（C）」ボタンをクリックします。
6. 「デバイスの選択」ウインドウの「ディスク使用（H）」ボタンをクリックします。
7. 「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
8. 「NeoMagic Magic Graph 128ZV」が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。（ドライバーのコピーが行われます。）
9. 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウインドウの「モニター」タブをクリックし、「変更（C）」をクリックします。
10. 「モデル（D）」の中から「Super VGA 1024×768」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
11. 「閉じる」ボタンをクリックします。
12. 「画面のプロパティ」ウインドウの「カラーパレット（C）」で「High Color（16ビット）」、「デスクトップ領域（D）」で「800×600ピクセル」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックします。
13. フロッピーディスクドライブから「ドライバディスク1」を抜いて、「システム設定の変更」ウインドウの「はい（Y）」をクリックします。

7 YAMAHAサウンドドライバーのインストールを行う。

1. 「スタートボタン」をクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C）」をクリックして「システム」アイコンをダブルクリックします。
3. 「システムのプロパティ」ウインドウの「デバイスマネージャー」タブをクリックします。
4. 「サウンド、ビデオ、及びゲームのコントローラ」のツリーに現れている次の４つのデバイスを削除します。
   - 「Creative Labs Sound Blaster Pro」
   - 「MPU-401 Compatible」
   - 「MS Windows Sound System互換」
   - 「ゲームポートジョイスティック」

5. 「スタートボタン」をクリックし、「Windowsの終了（U）」をクリックします。
6. 「コンピュータを再起動する（R）」を選択し「はい（Y）」をクリックします。
7. Windows 95の再起動中に、「デバイスドライバーウィザード」画面が表示されます。あらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をフロッピーディスクドライブに挿入して、「次へ」をクリックします。
8. 「YAMAHA OPL3-SAx Sound System」が見つかったことを確認して、「完了」をクリックします。ドライバーのインストールが始まります。
9. メッセージに従って「ドライバーディスク２」を挿入してください。（ドライバーディスク２のコピーは時間がかかります。）
10. 「コントロールパネル」に「OPL3-SAx Config」アイコンが現れます。このアイコンをダブルクリックすると、各種サウンドの設定ができます。
11. 「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックします。
12. 「OPL3-SAx電源管理」タブをクリックすると、電力消費の設定メニューが表示されます。出荷時の設定は「普通に節約」です。

8 ハードディスクコントローラを変更する。

1. 「スタートボタン」をクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C）」をクリックして「システム」アイコンをダブルクリックします。
3. 「システムのプロパティ」ウインドウの「デバイスマネージャー」タブをクリックします。
4. 「ハードディスクコントローラ」のツリーに現れている「スタンダードPCI IDEコントローラ」を削除します。
5. 「システム設定の変更」画面で「はい（Y）」をクリックして、コンピュータを再起動します。
6. Windows 95の再起動中に、新しいコントローラが検出されます。
7. はじめの「システム設定の変更」画面では、「いいえ（N）」をクリックして次に進みます。
8. 再び、新しいコントローラが検出されます。
9. 「システム設定の変更」画面で「はい（Y）」をクリックしてコンピュータを再起動します。

9 Panasonicユーティリティをインストールする。

「パワーマネジメント設定」などのツールをインストールします。

1. あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク１」をフロッピーディスクドライブにセットします。
2. 「スタートボタン」をクリックし、「ファイル名を指定して実行（R）」をクリックします。
3. 「名前（O）」に「A ：＼SETUP」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
4. 画面に表示されるメッセージに従ってインストールを続けます。
   途中で、ディスク２を挿入するメッセージが表示されたら、「ユーティリティディスク２」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

10 各種アプリケーションをインストールする。

[スタート] → [プログラム] → [Panasonic] → [補足説明] を参照してください。

各種設定を行う

設定を行う前に、システムディスクを作成しておいてください。

1 Windows 95 で 1.2 Mバイトのフロッピーディスクの読み書きができるようにする。

出荷状態では、Windows 95 用の３モード FD ドライバーはインストールされていません。1.2M バイトのフロッピーディスクを読み書きする必要のある方は、以下の手順に従ってドライバーをインストールしてください。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ドライバーディスク１」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
3. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ハードウェアウィザード」ウインドウで「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「いいえ」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「ハードウェアの種類(H)」の中の、「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックします。
7. 「ディスク使用（H）」ボタンをクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A ： \」であることを確認し、「O K」ボタンをクリックします。
8. 「パナソニック３モードフロッピーディスク（Let's note シリーズ）」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「完了」ボタンをクリックします。
10. フロッピーディスクドライブから「ドライバーディスク１」を抜いて、「システム設定の変更」ウインドウの「はい（Y）」をクリックします。

2 Windows 95 の赤外線ドライバーをインストールする。

Windows 95 の赤外線ドライバーをインストールすると、赤外線ポート経由でケーブル接続ができるようになります。インストール手順は次の通りです。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S)」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C)」をクリックして、「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。
3. 「ハードウェアウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「ハードウェアの種類（H)」で「赤外線」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

6. 「赤外線デバイスウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 「製造元（M）」で「スタンダード赤外線デバイス」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
8. 「一般の赤外線シリアルポート（COM2）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「標準のポートを使用」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。（赤外線通信ドウライバーがセットアップされます。Windows の Disk を挿入するメッセージが表示されたら指示に従ってください。）
10. 「完了」ボタンをクリックします。

3 トラックボールの設定をする。

添付の MouseWare 95 をインストールすると、トラックボールの動作に関して詳細な設定ができるようになります。インストール手順は次の通りです。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「MouseWare95 ディスク１」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 「名前（O）」に「A：＼SETUP」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
4. インストールプログラムが起動したら、表示されるメッセージに従ってインストールしてください。最後にコンピュータを再起動することになります。
5. Windows 95 が再起動したら、［スタート］→［設定（S）］→［コントロールパネル］とクリックして、「マウス」をダブルクリックします。
6. 「新しいデバイス」画面が表示されますので、「はい（Y）」をクリックします。
7. 「デバイスセットアップウィザード」画面が表示されますので、「次へ（N）」をクリックします。
8. 以降、トラックボールの設定画面が表示されます。お好みに合わせて設定してください。

参考

MouseWare95 を導入すると、一部の外部マウスで動作がおかしくなることがあります。
問題が発生した場合は、「アプリケーションの追加と削除」で「マウスウェア」を削除してください。

4 PC Cardの動作モードを切り換える。

ROM SETUPの「PC Card動作モード」は、出荷状態で「PCIC互換モード」になっています。「CardBus」対応のPC Cardを使用される場合は、次の手順で「CardBusモード」に切り換えてください。
ZVポート対応のPC Cardを使用される場合は、「PCIC互換モード」でご使用ください。

「PCIC互換モード」→「CardBusモード」に切り換える

1. Windows 95を起動します。
2. フロッピーディスクドライブに、あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク3」をセットします。
3. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. 「名前（O）」に「A：\CARDBUS」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
5. DOSウインドウのタイトルバーに「完了－cardbus」と表示されたら、右上の［X］をクリックしてDOSウインドウを閉じてください。
6. 「スタートボタン」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
7. 「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択して、コンピュータの電源を切ってください。
8. 電源スイッチを入れ、［F1］キーを押してROM SETUPを起動します。
9. 「システム詳細設定」で「PC Card動作モード」を「CardBusモード」に切り換えます。
10. 設定を保存してコンピュータを再起動します。
11. Windows 95のPC Cardドライバーが「Ricoh RL5C476 CardBus Controller」になり、CardBusカードが使用できるようになります。

「CardBusモード」→「PCIC互換モード」に切り換える

1. Windows 95を起動します。
2. フロッピーディスクドライブに、あらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク3」をセットします。
3. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. 「名前（O）」に「A：\PCIC」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
5. DOSウインドウのタイトルバーに「完了－pcic」と表示されたら、右上の［X］をクリックしてDOSウインドウを閉じてください。
6. 「スタートボタン」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
7. 「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択して、コンピュータの電源を切ってください。
8. 電源スイッチを入れ、［F1］キーを押してROM SETUPを起動します。
9. 「システム詳細設定」で「PC Card動作モード」を「PCIC互換」モードに切り換えます。
10. 設定を保存してコンピュータを再起動します。
11. Windows 95のPC Cardドライバーが「PCIC or compatible PCMCIA controller」になります。

5 ZV ポートご使用にあたって

本機にはPC Cardスロットが２つありますが、ZVポート対応は下のスロットのみです。
ZVポートは、「PC Card動作モード」を「PCIC互換モード」に設定してご使用ください。
ZVポート対応PC Cardのドライバーソフトは、本機のPC Cardコントローラ（株式会社リコー RL5C476）に対応していないものもありますので、購入される際に販売店にご確認ください。ZVポート対応PC Cardの操作方法は、PC Cardに付属の取扱説明書をご参照ください。

6 ハイバーネーション用データエリアについて

【ハイバーネーション用データ・エリアとは？】
ハイバーネーション機能を利用する為には，あらかじめ、ハードディスク上にメイン・メモリやビデオ・メモリの内容を保存するためのデータ・エリアを確保する必要があります。必要となる容量は、およそ、
　メイン・メモリの量＋1.2 MB
になります。
ハイバーネーション用データ・エリアは、「ファイル」として作成することも、「領域」として作成することも可能ですが、それぞれ制限事項があります。

●「ファイル」として作成できるのは、Windows 95などで使用されるFAT12/16ファイル･システム（単にFATとも呼ばれます）に限られています。
  - Windows 95のFDISKコマンドで、「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」とメッセージが表示されたときにYESと答えると、FAT32と呼ばれるファイル・システムが作成されますが、この場合、ハイバーネーション用データ・エリアをファイルとして作成することはできなくなります。
  - 「ドライブスペース」以外の方法でディスク圧縮を行う場合、正しく動作しないことがあります。

●「領域」(領域はパーティションと呼ばれる場合もあります)として作成した場合、使用するファイル・システムやディスク圧縮ソフトウェアに依存しません。ただし、確保されたデータ領域の大きさを変更する為、通常、ハードディスクの内容をすべてバックアップし，消去してから再インストールする必要が生じます。メイン・メモリーを増設した場合には、ハイバーネーション用のデータ・エリアを増やす必要があるため、特に注意が必要です。

出荷状態では、ハイバーネーション用データ・エリアは，32MB のメイン・メモリーを保存できるファイルとして作成されています。

【ハイバーネーション用データ・エリアの作成】
ハイバーネーション用データ・エリアは、「AL-N2 保存ディスク」に含まれるHBUTIL. EXEで作成することができます。
HBUTIL. EXEは AL-N2保存ディスクで起動してご利用ください。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」などから実行すると正常に機能しません。
また、HBUTILプログラムを実行して、ハイバーネーション用データ・エリアの作成や削除を行なった場合、必ず、すぐに再起動してください。
使用方法：HBUTIL オプション

P［サイズ］
F
D
I

オプション…

P［サイズ］

ハイバーネーション用データ・エリアを「領域」として作成します。
［サイズ］はメガバイト単位で、メイン・メモリーの容量を指定します。
［サイズ］を省略すると、現在の実装メモリに従って、領域を作成します。
［サイズ］に0を指定すると、ハイバーネーション用の「領域」を削除することができます。
（例）HBUTIL P64
メイン・メモリが64MB（標準メモリー ＋32MB DIMM）以下でハイバーネーション実行できる領域を作成します。

F

現在の実装メモリに従って、ハイバーネーション用データ・エリアを「ファイル」として作成します。ファイルは、「C:\HIBER. DAT」として作成されます。
このファイルを消すと、ハイバーネーションが実行できなくなります。

D

「ファイル」として作成されたハイバーネーション用データ・エリアを削除します。

I

ハイバーネーション・データ・エリアに関する情報を表示します。

エラー・メッセージ…

・まだディスクに領域管理情報が書き込まれていません。
最初にFDISKで領域管理情報を初期化してください。

このメッセージが出た時は、何らかの理由で、領域の管理情報が存在しません。一回、FDISKコマンドを使用して、領域の管理情報を初期化する必要があります。
まず、FDISK/MBRコマンドを実行し、続いてもう一度FDISKコマンドで存在している「基本MS-DOS領域」を削除してください。
再起動の後、もう一度、HBUTILコマンドを実行してください。

・十分な容量を持った空き領域が見つかりませんでした。

ハイバーネーション用データ・エリアを「領域」として作成する為には、十分な容量を持った空き領域が必要になります。
既存の領域を削除するなどして，空き領域を作成してください。

・このファイルシステムにハイバーネーション用ファイルを作成することはできません。

ファイルシステムがまだフォーマットされていないか、あるいはFAT12/16でありません。FAT32 などでハイバーネーションを実行するためにはハイバーネーション用データ・エリアは「領域」として作成する必要があります。

・ドライブCの空き容量が足りません。

指定されたドライブの不要なファイルを整理し、空きを作ってください。

メモリーの扱い方

メモリーの種類

本機は、以下の様なメモリー構成になっています。

メモリーマップ

メモリー	アドレス
基本メモリー	00000H
ビデオRAM	A0000H
ビデオBIOS	C0000H
	C9FFFH
メインBIOS	F0000H
拡張メモリー	100000H

■基本メモリー

最初の640Kバイトの RAMは、基本メモリーと呼ばれます。MS-DOSが使用されているとき、アプリケーションプログラムは、通常基本メモリーで動きます。

■拡張メモリー

最初の1Mバイトより上位のメモリー領域は、拡張メモリーと呼ばれています。このメモリー領域は、80286以上のCPUでしか動かないOSやアプリケーションプログラムを動かすために使用されます。この領域で動く主なプログラムに、OS/2やWindowsがあります。

使用可能なメモリー容量

使用可能なメモリー容量は、増設RAMの容量によって異なります。

実装済み	RAMモジュールスロット	拡張メモリー
32Mバイト	―――	31744Kバイト
	16Mバイト	48128Kバイト
	32Mバイト	64512Kバイト
	64Mバイト	97280Kバイト

困ったときに開くページ

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windows やアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	●本体の AC アダプターは、本体の電源コネクターおよび電源コンセントに差し込まれていますか？ ●十分充電されたバッテリーパックが正しく入っていますか？ ●本体裏面のリセットスイッチを押して、本機を再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●本体の AC アダプターおよびバッテリーパックを全て外してから再度装着し、再起動させたあと正常に動作しませんか？ ●HDD 内容が破壊されていませんか？ ROM SETUP で「起動ドライブ」を「FDD→HDD」に設定。その後、外付けフロッピーディスクドライブにシステムディスクを挿入して再起動し、FDD からシステムを起動して HDD 内容を確認して下さい。
ディスプレイの画面に何も表示されない	●省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。いずれかのキーを押すと、元に戻ります。 ●ROM SETUP で外部モニターが選ばれていませんか？ 外部モニターに設定された状態で、サスペンド／ハイバーネーションを行った後、外部モニターを取り外して、リジュームを行っていませんか？このときは「Fn」キーを押しながら「F3」キーを押してみてください。
画面上の日付／時刻の表示が違っている	●コントロールパネルを使って、正しい日付／時刻を設定してください。 ●日付／時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
ユーザーパスワードを忘れてしまった	●お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に本機が動かなくなった	●バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーが切れたおそれがあります。AC アダプターを接続してください。 ●使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。そのソフトウェアの使用を中止し、リセットスイッチを押し本機を再起動してください。
バッテリーインジケーターが赤く点灯している	●バッテリー残量がありません。AC アダプターを接続してください。 ●AC アダプターが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続し直してください。
バッテリーインジケーターが赤く点滅している	●バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。正しく装着し直してください。 ●それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
使用中に「ピー・ピー」と音が鳴り始めた	●バッテリーが切れかかっています。AC アダプターを接続してください。
充電中にバッテリーインジケーターが消灯している	●AC アダプターとバッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。AC アダプターとバッテリーパックを取り外し再度正しく装着し直してください。 ●それでも消灯するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
ディスプレイ画面が消えた	●省電力機能によって、スタンバイ状態になることがあります。スタンバイ状態では、いずれかのキーを押すと、元に戻ります。
残像が現れる	●イメージが画面に残ると、画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る	●これらのドットが残るのは、カラー液晶ディスプレイの特質です。故障ではありません。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	●外付けフロッピーディスクドライブが正しく接続されていますか？ ●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは初期化されていますか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
フロッピーディスクが初期化できない	●コマンドを正しく入力しましたか？　また、コマンドパラメーターに誤りはありませんか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
ハードディスクドライブにアクセスしない	●ハードディスクを正しく準備していますか？ ●原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
プリンターが動かない	●ケーブルが本体・プリンター間で正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●プリンターがオンライン状態になっていますか？ ●ROM SETUPで、「パラレルポート」を「378」、「278」または「3BC」に設定してください。 ●適切なプリンタドライバーが選択されていますか？
マウスが使えない	●マウスケーブルが本体に正しく差し込まれていますか？ ●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーション、またはマウスのプログラムのマニュアルを参照してください。 ●マウスがシリアルポートに接続されている場合は、ROM SETUPで「トラックボール」を「無効」に設定して下さい。その後、「シリアルポート」を「3F8（IRQ4)」か「2F8（RQ3)」に設定してください。 ●PS/2マウスが外部キーボード／マウスポートに接続されている場合は、ROM SETUPで「トラックボール」を「無効」に設定して下さい。
トラックボールが使えない	●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。 ●ROM SETUPの「トラックボール」設定が「有効」になっていますか？

周辺機器の問題

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここをお調べください</th></tr>
<tr><td>PC カードが使えない</td><td>●カードは正しくセットされていますか？
●当社指定以外のカードを使用していませんか？
●適切なドライバープログラムがインストールされていますか？
● PC カードが使用している I/O アドレス、IRQ ナンバー、チャンネルを確認し、設定し直してください。
〈I/O アドレス〉
以下のアドレスをさけて設定し直してください。
I/O:0000H-00FFH (システムボード)
1F0H-1F7H (ハードディスクドライブ)
220H-22FH (サウンド)*4
240H-24FH (サウンド)*4
260H-26FH (サウンド)*4
278H-27FH (パラレルポート)*2
280H-28FH (サウンド)*4
2F8H-2FFH (赤外線通信ポート)*1
330H-331H (サウンド)
370H-371H (サウンド)
378H-37FH (パラレルポート)*2
388H-38BH (サウンド)
388H-389H (FM)*4
398H-399H (FM)*4
3B0H-3BBH (VGA)
3BCH-3BFH (パラレルポート)*2
3C0H-3DFH (VGA)
3E0H-3E1H (PC カードコントローラー)
3F0H-3F7H (フロッピーディスクコントローラー)
3F8H-3FFH (シリアルポート)*3
530H-538H (サウンド)*5
640H-648H (サウンド)*5
E80H-E88H (サウンド)*5
F40H-F48H (サウンド)*5
*1 赤外線通信（IrDA）ポートアドレスは、ROM SETUP で 2F8H、3F8H、“ 無効 ” のいずれかに設定できます。
*2 パラレルポートアドレスは、ROM SETUP で 278H, 378H, 3BCH, “ 無効 ” のいずれかに設定できます。
*3 シリアルポートアドレスは、ROM SETUP で 3F8H, 2F8H, “ 無効 ” のいずれかに設定できます。
*4 サウンドポートアドレスは、ROM SETUP で 220H , 240H, 260H, 280H のいずれかに設定できます。
*5 サウンドポートアドレスは、ROM SETUP で 530H , 640H, E80H, F40H のいずれかに設定できます。
〈IRQ ナンバー〉
以下のいずれかに設定してください。
IRQ： 3*1, 4*2, 7*3, 9, 10, 11, 15
*1 IRQ3 は、通常、COM2（赤外線通信ポート）が使用しています。
*2 IRQ4 は、通常、COM1（シリアルポート）が使用しています。
*3 IRQ7 は、通常、プリンターに使用されます。
PC カードで、IRQ3 または IRQ4 を使用するときは、ROM SETUP でシリアルポートまたは赤外線通信（IrDA）ポートを「無効」にしてください。</td></tr>
</table>

自己診断プログラム

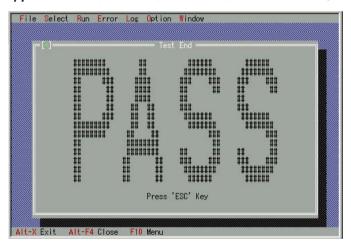
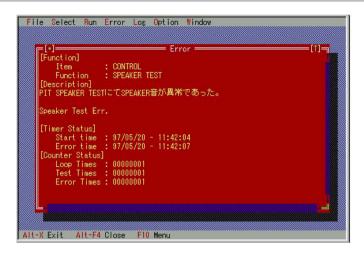
DIAG プログラム

DIAG プログラムを使うと、本機各部の動作のテストをすることができます。

1. フロッピーディスクドライブに「AL-N2 保存ディスク」をセットし、本機を起動します。(テストに 10 分程度かかります)

2. プロンプト(A:¥)に続けて、以下のように入力します。
　　　　DIAGN2［ENTER］

3. 自己診断プログラムが自動的に起動し、テストを開始します。

4. テストが正常の場合は、PASS と画面に出力されます。

5. エラーが発生した場合は、赤い画面の中に、テスト項目([Function])・エラー内容([Description])・開始終了時刻([Timer Status])・ループ/テスト/エラー回数([Counter Status])が表示されます。次に、スピーカテストでのエラー出力を例として示します。

6. 自己診断プログラムを終了するときは、［ALT］キーを押しながら［X］キーを押して下さい。

主なテスト内容

テスト項目	内容
CPU	キャッシュ
RAM	基本／拡張メモリの Read/Write
CONTROL	DMA, PIC, RTC, PIT 等
IO	キーボード、マウス
COMMUNICATION	シリアルポート、パラレルポート
AUX	PCIC
VIDEO	VRAM の Read/Write, 画面モード
DISK	フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブ
UNIQUE	ECP, EPP, CMOS

お願い

・保存ディスクで設定している項目以外のテストやテスト内容を変更して動作させないでください。
・VIDEO の画面モードテストでは正常なら［y］キーを、異常であれば［n］キーを入力してください。
・フロッピーディスクドライブのテストでは、チェック用のフロッピーディスクを別途用意してください。

付録

BIOS が表示するエラーメッセージ一覧

BIOSのエラーが発生した場合は、起動時に以下のようなエラーメッセージが表示されます。
各エラーコードの意味は以下のとおりです。

エラーメッセージ	意味
Internal cache failure	CPU内蔵キャッシュメモリのエラーです
External cache failure	キャッシュメモリのエラーです
062 Boot failure – default configuration used	7回以上連続して自己診断プログラム（POST）が中断され、システムボードにデフォルト設定が行われました。
101 System Board Failure	割り込みコントローラーのエラーです。
102 System Board Failure	タイマーのエラーです。
106 System Board Failure	フロッピーディスクコントローラーのエラーです。
151 System Board Failure	リアルタイムクロックのエラーです。
161 Bad CMOS Battery	CMOSバッテリーのエラーです。
162 Configuration Error	CMOSの設定が誤っています。
162 Configuration Change Has Occurred	システム設定が変更されました。
163 Date and Time Incorrect	日付・時刻が設定されていません。
164 Memory Size Error	メモリ・サイズが変更されたと判断されました。
201 Memory Size Error	メモリのデータエラーです。
604 Diskette Drive Error	フロッピーディスクドライブのエラーです。
1780 Hard Disk Error	ハードディスクのエラーです。
8603 Pointing Device Error	トラックボールかシステムボードのエラーです。
その他のエラーメッセージ	自己診断プログラムがエラーを発見しました。

本体仕様

機種		AL-N2T515J5
CPU		MMX[R] テクノロジ Pentium[R] プロセッサ 150MHz
メモリー	メイン RAM	標準：32M バイト、最大：96 M バイト（64 M バイト DIMM 装着時）
	外部キャッシュ	256 k バイト（パイプラインバースト SRAM）
	ROM	256k バイト
	ビデオメモリー	1.1 M バイト
ハードディスクドライブ		1.6 G バイト
表示機能	テキスト表示	80 文字× 25 行
	グラフィック表示	解像度：800 × 600 ドット 色数：65536 色
	漢字表示	日本語 40 文字× 25 行
入力装置	キーボード	総数 88 キー
	フラットパッド	光学式トラックボール
インターフェース	プリンター	セントロニクス準拠 D-sub 25 ピン
	RS-232C 規格	RS-232C D-sub 9 ピン
	拡張キーボード マウス テンキーボード	PS/2 タイプ
	EXT, DISPLAY	アナログ RGB D-sub 15 ピン
	音声	マイク入力（MIC ミニ M3）× 1 ヘッドホン出力（PHONES ミニ M3）× 1
	赤外線通信ポート	IrDA-SIR 準拠、最大 115.2kbps/ASK
カードスロット	PC カード専用	タイプⅡ× 2 スロット　または　タイプⅢ× 1 スロット Card Bus ZV Port *6 サポート（5 V で 600 mA *1 ／ 12 V で 100 mA *1）
	RAM モジュール専用	1 スロット
オーディオ機能		PCM 音源（Sound Blaster Pro 互換）FM 音源　スピーカー搭載
時計機能		クロックバッテリーバックアップ　月差± 60 秒
電源	入力	AC アダプター 15.1V（入力 AC100V、 50/60 Hz）*4 バッテリーパック 10.8 V（Li-Ion）
	消費電力 *2	約 28W（約 22W *3）
バッテリー稼働時間		標準約 3 時間 *7（省電力モード設定、バッテリー 2 本時）
外形寸法（幅×奥行×高さ）		255 × 192 × 39 *5mm
質量		1.39kg（1.54 kgバッテリー 2 本のとき）
使用環境条件		温度：5 ～ 35 ℃　湿度：30 ～ 80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア		Microsoft Windows95、　Microsoft Internet Explorer、 Nifty Manager、AOL for Windows、各種ドライバーなど
フロッピーディスクドライブ		外付け 1 ドライブー 3.5 インチ（1.44 M/1.2 M/720 k バイト）

RAM モジュール（DIMM）は、EDO 及びセルフリフレッシュのメモリーを使用したモジュールに限り使用できます。
ハードディスク・ドライブの容量は 1G バイト＝ 10^9 バイト表記です。
*1　2 スロット合計の許容電流です。
*2　動作中の最大消費電力です。
*3　電源オフ時、バッテリー充電中の表記です。
　　（電源オフ、バッテリー充電終了時、AC アダプターは約 1.2W の電力を消費しています。）
　　また、電源オフ時、バッテリーの消費電力は約 80 mW です。
*4　AC アダプター本体は AC240V まで対応の設計をしております。
　　AC コードは、AC125V 対応のコードを同梱しております。
*5　デザイン上の都合で高さが 41mm の部分があります。
*6　ZV port は下スロットだけサポートしております。
*7　バッテリー稼動時間は、動作環境・システム設定により変わります。

付録

さくいん

◆ま行◆

◆や行◆

◆ら行◆

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン テクニカルサポートセンター」にご相談ください。

■ 保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年

■ 修理を依頼されるとき

『故障かな？』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
注） 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取扱い方法等ご不明な点がありましたら、商品名をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。
なお、通常の修理サービスは、お買い上げ販売店にご依頼ください。

●ご相談窓口「パナソニックパソコン　テクニカルサポートセンター」

電話	0120-873029（フリーダイヤル　通話料金無料）
受付日及び時間	月曜日～金曜日（祝・祭日除く） 10:00～17:00

（1997年6月2日現在）